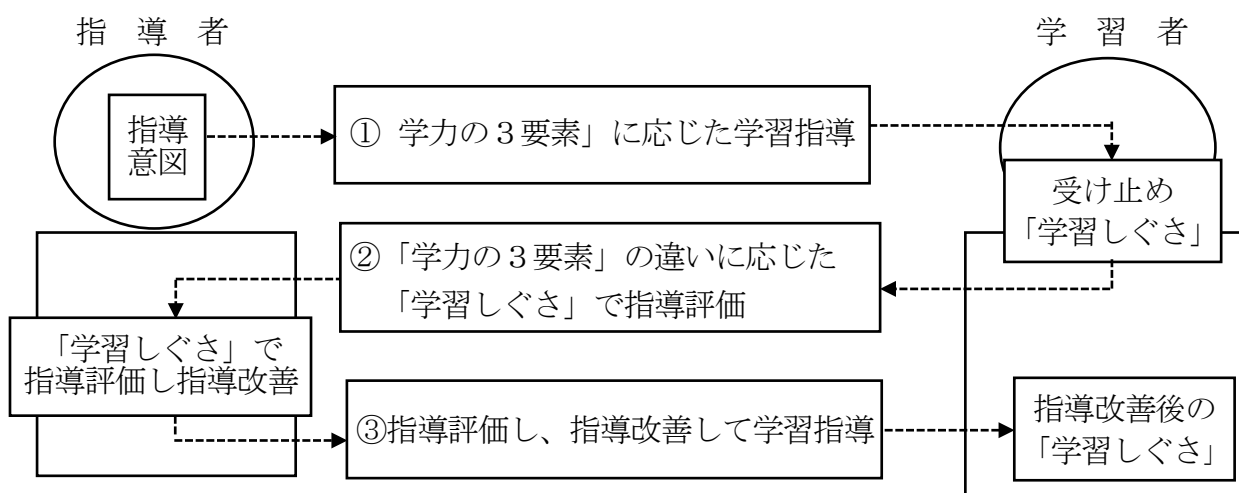


＜205＞ 問題解決の学習指導で授業改善するコツとは？

授業改善には様々な方法ありますが、生徒が「学力の3要素」の学習活動で見せる「学習しぐさ」を指導改善の評価資料にして、授業改善するコツを示してみたいと思います。

コツー１ 「学習しぐさ」を授業評価して授業改善する手順

「学習しぐさ」を指導の評価資料として、授業改善する手順を示してみます。



コツー２ 「学習しぐさ」で授業改善する方法

「学習しぐさ」を指導評価の資料にし、授業改善し「授業づくり」する手順を示してみます。

手順１：学習活動で見せる「学習しぐさ」で評価資料を得る

『102 授業構成を工夫した「授業づくり」でのエッセンスは？』で示したサンドイッチ型の授業構成で見せる」の学習活動で出る「学習しぐさ」の典型例を示してみます。実際の姿は、資料をご覧ください。

授業の流れ	「学習しぐさ」の典型例
導 入	視線・視線などの態度や、学習に向かう心情は板書や教師に集中している
展 開Ⅰ	板書・教師の話・教科書に態度や心情ともに集中し、熱心にノートを取る
展 開Ⅱ	鉛筆回し・生徒同士の相談・動きのシミュレート・頭を抱えて考える・消しゴムを使いながら集中して熱心に課題の考えをまとめる
ま と め	心的には態度はまちまちであるが、心的には学習のまとめに集中している

手順２ 指導意図にそっているか指導評価する

「導入、基礎内容を習得する展開Ⅰ、思考力・判断力・表現力等で問題解決する展開Ⅱ、ふり回り・まとめ」が手順１にあるような「学習しぐさ」になっているかで指導評価する。

手順３ 授業改善する

「学習しぐさ」が学習指導の意図になっていない場合は、指導改善する。特に、上の展開Ⅱの例で示した「学習しぐさ」が見られない場合は、習得型の学習指導になっている恐れがあるので、生徒自らが主体的に学ぶような問題解決型の学習指導に授業改善を試みる。

資料：各学習活動（サンドイッチ型）で見せる「学習しぐさ」の具体例

導 入	展 開 I	展 開 II	ま と め
			
			
提示した関心の喚起の提示映像の教材、教師のねらいの説明に態度・心的ともに集中している	基礎内容の説明を一斉に聞く態度、本時の学習内容の確認を教科書の内容で確認している	生徒一人一人が、消しゴムや鉛筆回しなどし、それぞれ異なった姿勢で思考活動に向き合っている	本時の学びのまとめに、それぞれが態度はややまちまちであるが心的に集中し向き合っている

なお、近々Web上に載せる予定の『705の「学力の3要素」の学習活動で出る「学習しぐさ」のエッセンスは?』も参照して下さい。